

とつかハートプランとは

とつかハートプランは、戸塚区で暮らし、学び、働くすべての人が協力しながら進める「戸塚区地域福祉保健計画」の愛称です。

とつかハートプランでは、「誰もが安心して心豊かに暮らすことのできる地域社会の実現」を基本理念として、区民・地域団体・関係機関・事業者の皆様と戸塚区役所、戸塚区社会福祉協議会、地域ケアプラザ等の協働により、支えあい、助けあえる地域社会の実現を目指します。

平成18年度より第1期計画が始まり、令和8年度から第5期とつかハートプラン（5か年）が始まりました。

地区別計画とは

地区別計画は、「こんなまちにしていきたい」という思いの実現や、地域の特性に応じた課題にきめ細かく対応していくために、連合町内会自治会・地区社会福祉協議会のエリアごとに策定・推進する計画です。地区ごとに住民の皆様が中心となり、各地区の状況に合わせた様々な方法で話し合いを重ね、「目指す地域の姿」、「それに向けた今後5年間の目標や取組」をまとめています。

地区住民・関係機関等が地域連携チーム（戸塚区役所・戸塚区社会福祉協議会・地域ケアプラザ）と連携して、策定・推進にあたります。各地区の取組だけでは解決が難しい課題などについては、区計画での取組を充実させていきます。



戸塚スタイル

「3つのアクション」



「おもいあい」と「梓にとらわれない」をキーワードに、3つのアクションを進めよう

区計画

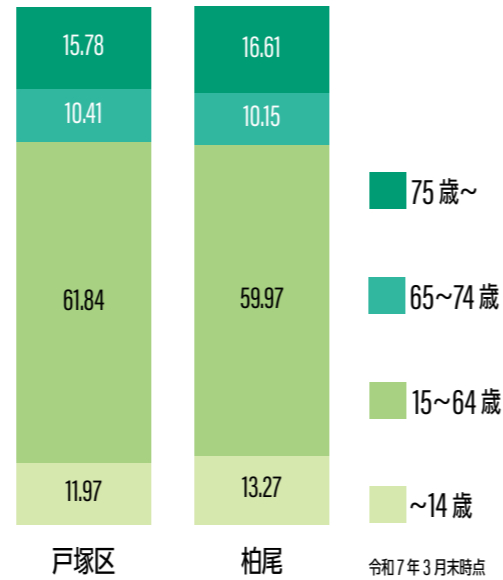
区の特長や課題に応じた取組
地域活動の「参考書」

連携

地区別計画

地区の特長や課題に応じた取組
各地区の歴史や経緯を反映

地区 data 柏尾地区 年齢4区分人口割合 (%)



出典：「地区概況シート」（健康福祉局作成）
人口情報は、住民基本台帳の登録人数から算出しています。
データ処理方法の違いから、横浜市統計ポータルの人口情報とは一致しません。

お問合せ先
戸塚区役所 福祉保健課 事業企画担当
電話：866-8424 FAX：865-3963
to-tihukuho@city.yokohama.lg.jp

社会福祉法人 横浜市戸塚区社会福祉協議会
電話：866-8434 FAX：862-5890
info@totsukashakyo.com



とつかハートプラン
ホームページ

このリーフレットは、区民の皆様からお預かりした共同募金を活用して作成しています。

第5期とつかハートプラン

第5期
令和8-12年度

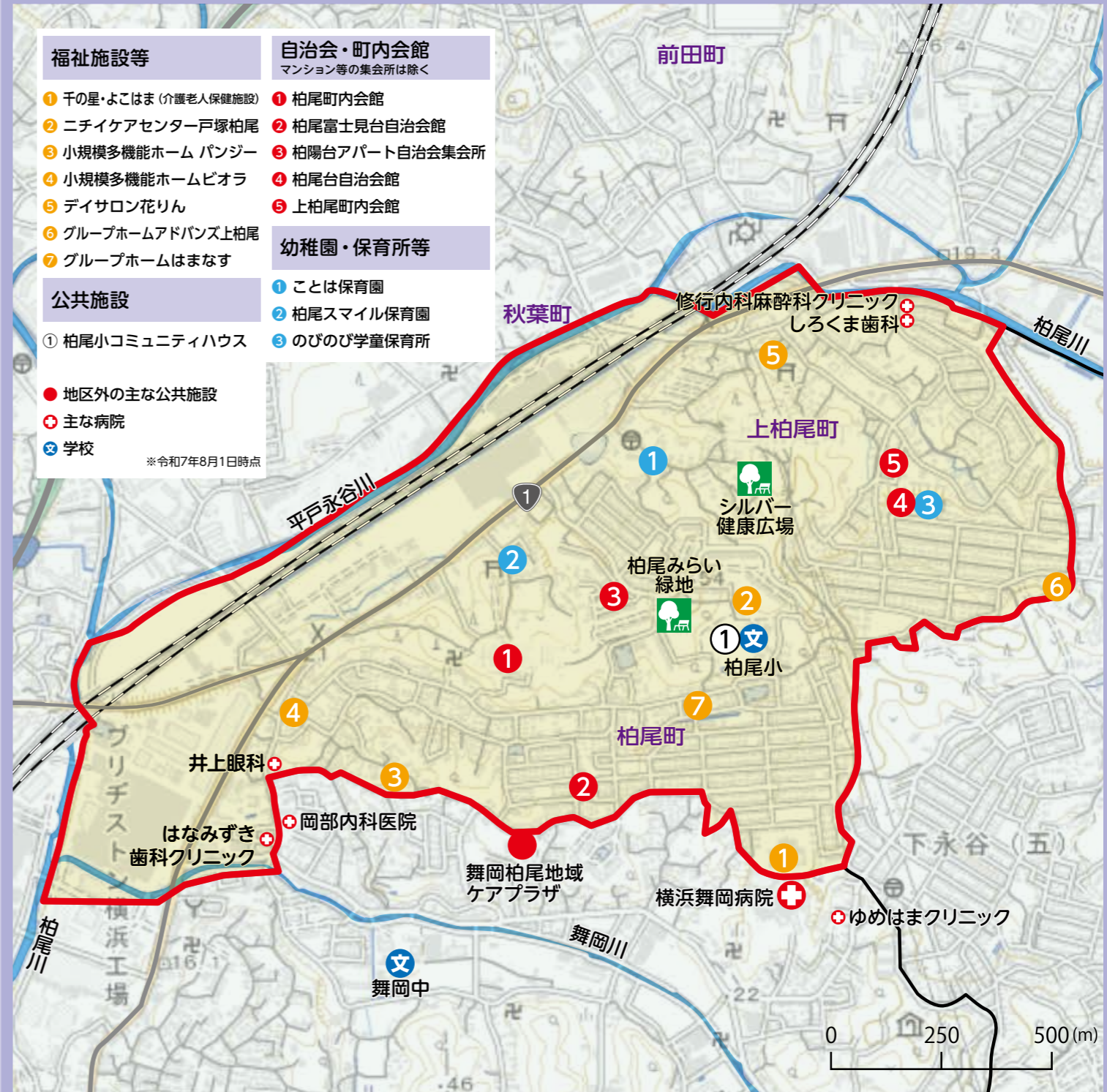
柏尾地区ハートプラン

（地域福祉保健計画）



柏尾地区プロフィール

柏尾地区は、旧東海道戸塚宿の玄関口に位置し、柏尾川の名称発祥の地としても知られる、歴史と自然が調和した地域です。1990（平成2）年に旧川上地区から分離独立し、現在は9つの自治会・町内会で構成され、地域一体となってまちづくりに取り組んでいます。近年では、不動坂交差点の歩道橋が開設、また柏尾町みらい緑地も整備され、安全と憩いの場づくりも進んでいます。夏秋祭りを始め、様々なイベントにもぎやかに開催され、子どもから高齢者まで、年齢を問わず参加し、笑顔があふれる場となっています。住民同士のつながりも深く、一体感と活気に満ちた、誰もが自慢できる魅力ある地域です。



かたいきずなと、しんらいで、おたがい仲良く地域の「わ」

振り返り 第4期計画で柏尾地区が取り組んできたこと

- 子どもから高齢者まで多くの住民が参加できる活動や、住民相互の交流の輪を広げてきました。
- 連合の青年部を立ち上げ、次世代の担い手の育成に取り組んできました。

主な活動と取組

【地域ぐるみの子育て支援】

- 「ハートぽっぽ」に参加する幼児の年齢に合わせた工作やうた遊びなど、親子で楽しんで季節感のある催しを行いました。小学4年生の子ども達と交流する機会があり、工夫した楽しい出し物を幼児たちに披露してくれました。



■ ハートぽっぽ 小学生との交流



■ ハートぽっぽ ジャガイモ掘り

【地域のふれあいと健康づくり】

- 「かしおのこども食堂」は毎月1回舞岡柏尾地域ケアプラザにて開催しています。毎回100人以上の申し込みがあり、幼児から高齢者まで家族やお友だち同士で参加、ボランティアも増え交流の輪が広がっています。
- インディアカや元旦マラソン等のイベント、グラウンドゴルフやペタンク、また様々なサロンを通して、多世代交流と健康づくりを推進しました。



■ 柏尾さわやかウォーク



■ かしおのこども食堂



■ 秋季レクリエーション大会

【安心・安全で人にやさしいまち】

- 各自治会・町内会の防災リーダーは、毎月会議を行いその年のテーマを決めて防災訓練の準備をしています。夜間訓練や小学校との合同訓練など多彩な訓練を行いました。
- 学援隊の皆さんは、毎日小学生の登下校の見守りをしています。
- 各自治会・町内会では、防犯パトロールを行っています。



■ 小学校との合同防災訓練



■ 学援隊の登校見守り

第5期の目標



誰もが安心して暮らせる安全な地域づくりを進めるとともに、子どもから高齢者まで多世代がふれあい、支え合えるまちを目指します。また、地域同士のつながりも大切に、やさしさと笑顔があふれる住みよい環境をつくりまします。

目標1 安心・安全で人にやさしいまちを目指します

【具体的な取組】

- 防犯パトロールを引き続き行うとともに、連合全体で強化月間を設け、^{のぼり}幟や掲示物やあいさつ運動など、防犯の強化を図ります。
- 災害時に備えて、地域住民が支え合えるように、各自治会・町内会の防災リーダー育成と連携強化を引き続き進めます。
- 防災訓練の必要性とその意義を伝え、様々な訓練を通して地域住民の防災への意識を高めていきます。その一つとして、数年に一度、小学校との合同訓練を行い、子どもの頃から防災への意識付けを行っていきます。



■ 防犯パトロール

目標2 多世代がつながる機会を広めます

【具体的な取組】

- 地域で親しまれている恒例のイベントは継続しつつ、内容や運営方法を見直し、年代や立場を問わず誰もが参加しやすく楽しめるよう、工夫していきます。
- スポーツ面の充実はもとより、文化面でも地域の魅力発信の場として「連合文化祭」の開催を目指します。多世代が気軽にふれあい、地域のつながりを深められるよう、計画から実施まで住民の協力を得ながら実現していきます。



■ もちつき大会